

調査書(2ページ目)作成の例

5. 創意工夫の内容について

①業績名

〇〇と〇〇の考案

②創意工夫の内容

【背景】

〇〇工程では、〇〇コンベアのメンテナンスとして、〇〇作業を年2回の頻度で行うことになっているが、当作業は.....という過酷な環境のもとでの作業であり、1回の作業に時間がかかっていることが課題となっている。

【考案】

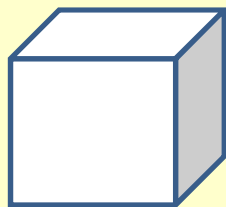
〇〇と〇〇を組み合わせで〇〇と〇〇を考案した。

〈考案の3つのポイント〉

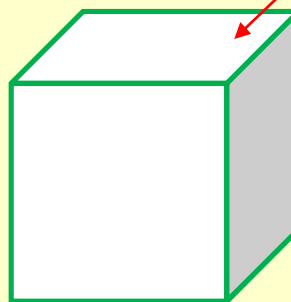
- ①.....が簡単にできる。
- ②.....の設定が容易にできる。
- ③.....が同時に可能である。

〇〇と〇〇の組み合わせで、
〇〇が可能になった

改善前の写真または図案



改善後の写真または図案



③創意工夫の実績

【改善前】手作業による作業時間

〇分×〇箇所×2回/年=〇〇時間/年.....(1)

【改善後】〇〇と〇〇を使用した場合の作業時間

〇分×〇箇所×2回/年=〇〇時間/年.....(2)

(1)-(2)=〇〇時間/年の縮

・金額効果/年

((1)-(2))×人件費〇〇円-改善費用〇〇円=〇〇円

・その他の効果

今回の改善により、.....のことで作業負担が大きく軽減された。

調査書(2ページ目)作成のポイント

5. 創意工夫の内容について

①業績名

創意工夫の内容を○に○にするもの

○○考案/改良/改善(23文字以内)

②創意工夫の内容

背景、○、問題

改善前/後の違いが明になるよう
図や写○を使い、具体○に、
分かりやすく記載してください。

○のための
創意工夫内容

③創意工夫の実績

創意工夫○による
実績、効果

作業の○縮時間、コスト削○を
極力数値化して記載してください。

全体を通して、「」の○れが
明になるように記載してください。